

落語(らくご)のはなし



落語には、独特の「きまり」があります。落語を演じながら、落語家さんは男になったり女になったり、小さな子どもや年寄りのご隠居さんになったりします。衣装を着替えるわけでもないのにそう見えます。また、持っている道具は「てぬぐい」と「扇子」だけなのに、それが「本」になったり「刀」や、他のいろいろなものになります。これはみんな落語という「話芸」の不思議なちからです。今回の公演では、そんな不思議で魅力的な落語の世界へ、人気落語家・林家たい平さんが、みなさんを案内してくれます。わかりやすい解説を交えて子どもたちにも大人気の有名な古典落語「寿限無」など、大人はもちろん、はじめて落語を聴く子どもにも楽しめるプログラムになっています。テレビや絵本で出会った落語を、ぜひライブでお楽しみください。

りぶら寄席

演目紹介 『寿限無(じゅげむ)』



他はおたのしみ

はじめての子どもをさすかった夫婦。父親は、わが子が長生きするようにその子の名前を寺の和尚さんのところへ相談にいった。和尚さんは、長生きにちなんだ縁起のいい言葉をいろいろ教えてくれる。忘れないように家に紙に書いて持って帰って、さて、どれを名前にしようかと悩んだすえに、せっくなのでと全部を子どもの名前につけたので、子どもの名前はとても長くなってしまった。長い名前を付けられた子どもと、そのまわりの人たちのまきおこす騒動を描く、落語入門としては基本中の基本のおはなしです。



林家たい平(はやしやたいへい)プロフィール



1964年12月6日生まれ。埼玉県秩父市出身。1987年 武蔵野美術大学造形学部卒業の翌年、林家こん平に入門し、1992年に二ツ目昇進。NHK新人演芸コンクール 優秀賞(1993)等、数々の賞を受賞した後、2000年真打に昇進した。最近では、国立演芸場主催花形演芸会 金賞(2004、2008)、平成19年度(第58回)芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞している。テレビでは「笑点」(日本テレビ)に大喜利メンバーとしてレギュラー出演中。「趣味悠々 落語入門」(NHK教育)では子どもにも人気の古典落語「寿限無」の講師をつとめた。美術大学出身で著作(「林家たい平 笑点絵日記」、「たい平の野菜シャキシャキ」など)や、自らの落語CD(「林家たい平落語集・たい平よくできました」1~5)の挿画も手がけるなど、幅広いメディアで活躍中。

明るく元気な林家伝統のサービス精神を受け継ぎながらも、古典落語を現代に広めるために努力を続け、落語の楽しさを伝えている。“たい平ワールド”と呼ばれる落語には老若男女数多くのファンを集め、年間を通じ定期的に行う自らの独演会を中心に全国でも数多くの落語会を行っている。落語の伝道師として名を広め、これからの落語界を担う、今もっとも注目を浴びる噺家である。



岡崎市図書館交流プラザ

URL <http://www.libra.okazaki.aichi.jp/>

主催◎岡崎市・岡崎市教育委員会

お問い合わせ◎岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地

TEL 0564-23-3100

